

会 議 録

会 議 の 名 称	第5回 垂水市総合開発審議会	
開 催 日 時	令和6年4月24日（水）	10時45分から 11時30分まで
開 催 場 所	垂水市役所 第一会議室	
出 席 者	委員（佐野 雅昭委員、崎野 剛委員、堀之内 学委員、川崎 あさ子委員、 福里 由加委員、森 真由美委員、川筋 貴子委員、村野 剛委員、 宮下 直弥委員、森 千秋委員、鶴飼 康弘委員、清水 誠委員、 市渡 しのぶ委員）	
	事務局（堀留企画政策課長、二川企画政策課総括監、羽生課長補佐兼政策推進係長、 福永主任主事、隈崎主事、迫田主事）	
会 議 事 項 等	1 開会 2 審議 (1) 第5次垂水市総合計画検証結果報告について (2) 第6次総合計画兼第3期総合戦略策定方針について (3) ワーキンググループの開催について 3 閉会	
会 議 の 経 過	発言者	意見等
	1 開会	
	事務局1	引き続き、第5回垂水市総合開発審議会を開催いたします。 委員の皆様には先ほど開催されたまち・ひと・しごと・創生総合戦略 審議会から、引き続きのご参加となりますが、どうぞよろしくお願いい たします。委員の出席状況については、先ほどと同様ですので、割愛さ せていただきます。 それでは審議に入りたいと思います。ここから先の議事進行につつま しては、審議会設置条例第5条第3項の規定により、引き続き、佐野会 長をお願いしたいと思います。
	議長	引き続き、議長を務めます佐野でございます。よろしくお願いいたし ます。 それでは、審議事項(1)「垂水市総合計画検証結果報告について」事務 局からご説明をお願いいたします。
	事務局2	《資料に沿って、説明》
	議長	ただいま、事務局から説明がありましたが、委員の皆様から、ご意見・ ご質問はございませんか。
	委員A	居住志向のところで交通環境・高齢化に伴う医療・介護・福祉環境に 関する課題があげられているが、この課題に対する年代別のデータがあ れば教えていただきたい。 また、最後のまとめに係る部分で、今、大体年間80人くらいの出生 があつてこれが40年間続いた場合、半数くらいが20代で市外にでてい き、市外から配偶者と共に地元に戻り、子どもが2人生まれた場合、国 の独立行政法人の数値に近づく形となるので、ここの課題が分かってい るということであれば、課をまたいで協議できるような議論の掘り下げ を行えるといいのかと思います。
	事務局3	課題に対する年代別のデータ集計は行っていないですが、集計自体は可 能だと思いますので、次回にでも御提示できればと思っております。 また、全課での協議について、策定方針については既に全課へ説明済

		となっております。 人口減少に関しては、おっしゃるとおり、そのようなことが差し迫っているのです、少しでもこれ以上人口流出がないよう、早い段階から若い人たち等も含めて、定着率の増加を図っていきたいと考えております。
	議長	他に委員の皆様から、ご意見・ご質問はございませんか。
	委員 B	コロナ禍以降、9つの地域が集まって何か行うということがなくなった。しかし、人と人のつながりを大切にすれば、まだまだ垂水市は栄えらる感じる。 災害時等でも隣人同士で助け合い、人が繋がっていれば、孤独を作ることではないと信じているため、そういった活動をしていけたらいいなと思います。
	議長	ありがとうございます。 共同体ベースで様々な取組みを行うことが、市民と行政の目指しているところなのだと思います。 そこへ、デジタルといったツールをうまく取り込むことで、地域の良さを失わないまちづくりをしていこうと感じます。 他に何かありますでしょうか。
	委員 C	以前から地域おこし協力隊の導入について提案を行っておりますが、垂水市の実情はいかがでしょうか。
	事務局 3	地域おこし協力隊については今年度より1名すでに雇用してございます。目的としては、地域の情報発信、長期的には任期終了後も定住してもらおうといったことがあります。夏前にはもう1人雇用し、2人体制になります。 今回の活動内容としては、外国人の方々と市民をつなぐ橋渡しの役割を担っていただくため、日本語教室の開催や地域との交流会の開催等を行っていただきます。 これについては、広報誌で特集を行い、地域おこし協力隊の方々の存在についても紹介を行っていく予定です。 この例が成功したら、地域おこし協力隊もさらに目的に応じた採用が広がっていくと思い、取り組んでおります。
	委員 D	地域おこし協力隊は何課に所属しているのですか。
	事務局 3	採用している2名は企画政策課への所属となります。
	委員 C	ありがとうございます。 私たちも地域おこし協力隊の方々がいるということを知らないため、地域としても、せっかくそういった方々が来てくれたのはすごくありがたいことなので、また何かの機会に歓迎することができればいいと思います。
	議長	他に委員の皆様から、ご意見・ご質問はございませんか。
	委員 D	昔は日本からも海外へ働きに出ている人がたくさんいた歴史があり、今はその逆になっているということなので、あたたかい目で受け入れていくことが大切ではないかと思います。
	議長	ありがとうございます。 外国人の方々も含めた共同体を作っていくことが大切だと思います。 私からも1点なのですが、定着率の増加の考えに加えて、1か所に定着しない働き方を行う若い方も増えてきているので、そういった方の受け入れ体制があればいいと思います。 若い方々に地域の活性化を行ってもらえば、新しいものが生まれていくのではないかと。 なので、人口の移動をネガティブにとらえなくともという気はしま

		す。 それでは、審議事項(2)第6次総合計画兼第3期総合戦略策定方針について事務局から説明をお願いいたします。
	事務局2	《資料に沿って、説明》
	議長	ただいま、事務局から説明がありましたが、委員の皆様から、ご意見・ご質問はございませんか。
	委員E	小中学生から意見を集約するにあたり、選挙権は18歳以降、20代前後も若者ととらえられますが、小中学生に定めた考えがあれば教えてください。
	事務局3	御指摘いただきましたとおり、20代の意見反映も考えましたが、総合計画が10年後にこうありたいということを目指す計画であることから、10年後に若者になっている世代にあたる小学生、中学生を選ばせていただきました。 この作業をとおして、垂水の良さに気づき、将来的に垂水市に戻ってこることも考えてもらえたらと願っております。
	議長	高校生も加えるというのは難しいのでしょうか。
	事務局3	教育委員会の所管が小中学校となっている関係で、既に小中学校には依頼を行っています。高校についてもアプローチの方法等考えておりますが、議会等スケジュールの関係で、高校への依頼まで至っておりません。
	議長	確かに高校は市立ではないのでそうだと思います。 市外から通学している生徒もいますから。 他になにかございますでしょうか。
	委員F	ワーキンググループ内で意見集約を行うために、市民満足度調査だけというよりは、ワーキンググループの中で地域からヒアリングを行うことは可能なのでしょうか。
	議長	今の質問は次の審議事項で紹介があるので、その際に合わせて市から回答をいただければと思います。 この後ご意見ないようでしたら、このような策定方針で進めるということで承認するとしてよろしいでしょうか。
	委員全員	はい。《委員承認》
	議長	ありがとうございます。 ご承認いただいたということにさせていただきます。 では審議事項(3)ワーキンググループについて、事務局より説明をお願いします。
	事務局2	《資料に沿って、説明》
	議長	それでは先ほど委員Fよりありました質問についてもう一度お願いします。
	委員F	今の説明で、我々がワーキンググループの一般市民参加とあって、なるほどと思ったんですけども、ここに我々だけでなく、参加したい人がいたらその人達の意見を吸い上げたらいいのかなと思いました。 各地区公民館の代表者といった方から意見を吸い上げたらより地域の実情に応じた意見がでるのではないかと思います。
	議長	いろいろな地域から意見がでるようなグループづくりが必要ではないかということですね。 公募委員ということになるか、少なくとも1人は各地区から参加していただきたいということですね。
	委員F	大野地区公民館の紹介の中で鹿児島大学の学生がキャンプに来て、地域と交流を行っているので、地区公民の中で議題を振ってもらい、そこ

		で出た意見をもって、ワーキンググループへ参加してもらえたらいいのではないかと考えたところでした。
	議長	ありがとうございます。 もしかしたら、このワーキングではなく、それはそれで別の形で意見集約してもいいのかなと思ったところですけど、市の方はいかがですか。
	事務局 4	企画政策課の地域振興係にて 9 つの地域別に地域振興計画というものを作っております。これは、それぞれの地区で 10 年後にどうありたいかということについて地域住民が考えてもらったものです。 この地域づくりの計画を総合計画の基礎として取り入れておりますので、こういったところを分析し、活用できるところは活用し、意見として計画に反映させたいと考えているところです。
	議長	各地区の意見を基礎に取組みながら進めるということですね。その他、何かございませんでしょうか。
	委員 C	このワーキンググループの募集はどういった形で考えていますか。
	事務局 3	募集自体は既に終了しており、広報誌 4 月号への掲載、ホームページ、LINE 等での呼びかけを行っております。ただ、今のところ反映がないため、もう一度 LINE 等で呼びかけるよう努めたいと思います。
	委員 B	募集があったときに、自分から手を挙げる方が何人いるかということで、毎回、同じようなメンバーになってしまいます。 応募がなければ、来てくれそうな人に電話をかけたり、送迎したりと、顔を合わせて話をしてこそいい意見がでると思いますので、そういったことを考えていただければと思います。
	議長	その他、何かございませんでしょうか。
	委員 H	ワーキンググループメンバーは 3 回目まで同じということでもいいですか。
	事務局 3	基本的に 3 回の会議でグループごとに分かれていただきたいと思います。1、2 回目は意見を発表し、3 回目で全体発表となりますので、1、2 回目は同じグループで出ていただければと思います。
	委員 H	今回は難しいかもしれないが、高校生は半分大人の段階なので、大人に混ざって自分の意見を言うのは貴重な体験になると思います。 例えば生徒会代表等、何人かの参加でもいいので形がとれればこれからを担う子の意見は私たちも勉強になると思います。
	委員 C	その点は、大野地区に鹿大の森んちゅくらぶという地域のサークル活動を行っている大学生もいるので、鹿大に限らず、大学生も絡めていくのは必要と思います。 人の流れをつくるという点において、道の駅、森の駅の関係者もワーキングに参加してもらえるといいと思います。
	議長	高校生の参加について、授業等の関係もあるので今やるのは難しいと思います。 これを、3 回目の発表会の際に様々な人に参加してもらい、意見交換をするような形など検討してみてはと思います。 他、いかがでしょうか。
	委員 I	基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるについて、去年の出生数が 38、40 くらいなので、何とか結婚してもらい、出産していただきたいという思いがあります。 支援センターも 20 から 40 代のお母様の利用が多いため、始めにまず結婚というところに力をいれていただけるよう、そういった世代にグループに入ってもらいたいと思います。

	議長	どうしても結婚・出産という、女性という発想になりますが、男性の方もしっかり頑張っていただければと思います。 また、メンバーの整理等、少し協議いただければと思います。 他、いかがでしょうか。 それでは審議事項は全て終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。事務局へお返しします。
	事務局 1	ありがとうございました。 色々な意見があり、大変参考になりました。 今回は4つのグループで委員の皆様にワークショップ的な活動を行っていただきますが、募集をかけても参加がなかった点について、いくつかヒントがありましたので、声かけ等、引き続き取り組んでいきたいと思っています。 皆様方からもお声掛けいただきたい方がいらっしゃいましたら、また企画政策課へ御連絡ください。 以上で第5回垂水市総合開発審議会を閉会いたします。 本日はお忙しいところお集まりいただき、貴重なご意見をありがとうございました。
会 議 結 果	・第6次総合計画兼第3期総合戦略策定方針については承認を得た。 ・ワーキンググループ3回目の発表会の開催方法について検討を行う。	
会 議 録 の 作 成 方 法	☐ 録音媒体を使用した全文記録 ☐ 録音媒体を使用した要点記録 ☒ 要点記録	
特 記 事 項	無し	